



潮がい

がんばるけん!
くまもとけん!



第21回 火の国ながす金魚まつり

平成28年 第1回(3月)定例会

第1回定例会 ～スタート!幼児の英語教育～
一般質問 9人が登壇し町政を問う
常任委員会等視察研修報告

- ②
- ⑩
- ⑰

元気をつくる創生予算

英語教育

外国人指導者とふれあう

総額

61億5000万円

今年度の特徴

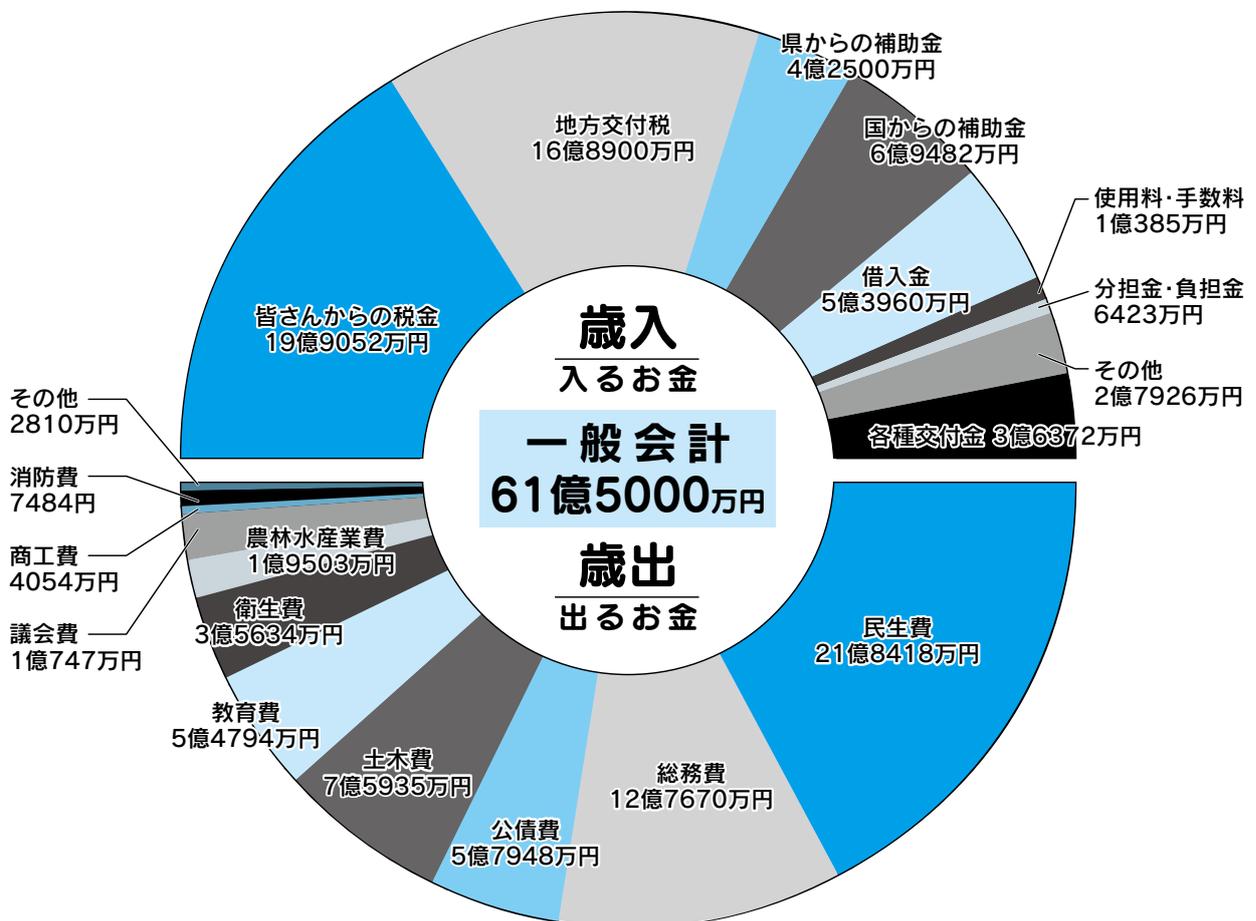
歳出面においては、医療特別会計への繰出金の伸びが顕著であり、今後この伸びをいかに抑えるかが課題である。人口減少や少子高齢化、財政基盤の安定化など課題はまだまだ山積であるが、バランスの取れた予算編成である。

第1回定例会(3月9日~18日)

町長から提案された議案は23件で、平成28年度各会計予算(7会計)ほか条例の制定、補正予算、人事案件などを審議し、全て原案のとおり可決した。

また、一般質問は9議員が行い、町長から示された平成28年度施政方針のほか、町政全般をただした。

今定例会では、延べ27名の方々が傍聴された。



子どもの未来とまちの スタート! 幼児の

平成28年度一般会計



★新規事業 ●継続事業

にぎわいづくりのために



- ★海の駅整備計画策定業務委託(補助) 500万円
- ★ながす未来館施設更新事業 158万円
- 金魚と鯉の郷広場屋外トイレ等の改修事業 2616万円

地域福祉の充実のために



- ★金魚タクシーに3台目導入 1538万円
- ★「げんきの館」での介護予防事業 290万円
- 予防接種事業 4747万円

子ども達の健やかな成長を願って



- ★小中学校普通教室にエアコン設置事業 1億990万円
- ★幼児英語教育委託事業 600万円
- ★子育て世代包括支援センター整備事業 441万円

安全安心なまちづくりをめざして



- ★防災マップ更新事業 624万円
- ★AED設置事業 22万円
- ★公共施設等総合管理計画策定事業 496万円

平成28年度予算 いろいろいびん生かすのが

歳入

〔主な質疑〕

問 (荒木議員)

ふるさと納税で、1000万円計上しているが、何か施策があるのか。

答

(まちづくり課長) 長洲の特産品等を活用した返礼品を充実し、町のPRを図る。

問

(大森議員) 町民税の法人分について、予定額の根拠は何か。

答

(税務課長) 大手企業の景気の動向調査や意見を聞いて集約している。

問

(福永議員) 町民税がだんだん減少しているが、町の考えは。

答

(町長) 定住化で生産労働者を増やし、住民税が増える仕組み、一次産業の所得を上げていく。

歳出

〔主な質疑〕

問 (竹本議員)

AEDの各公共施設への設置状況は。

答

(総務課長) 既存の施設(金魚の館・町民研修センター・健康福祉センター・地域福祉センター)、新たに「げんきの館」に配置した。



問 (濱村議員)

海の駅整備計画策定業務委託料が計上されているが、海の駅についてどのような構想をもっているか。また、その完成はいつ頃か。

答

(まちづくり課長) 町内の農水産物の販売所や漁業の体験ができるような施設整備を考えている。28年度に基本計画、29年度に設計、30年度に建設を目指して事業を進める。

問

(福本議員) サポートが必要な子どもがふえているなかで、どのような体制で対応されるのか。

答

(学校教育課長) 特別支援教育支援員を、各学校に8時30分から午後5時15分の間で、2名ずつ派遣することで放課後まで対応できる体制とする。

問 (市原議員)

愛情ねつこの仕組みと利用者数の伸びは。

答

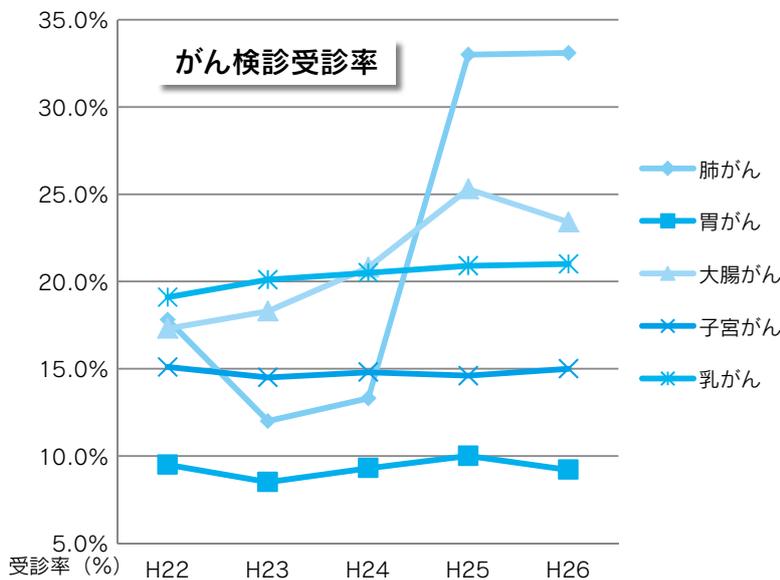
(まちづくり課長) 県警察署、防災ネット、荒尾市、大牟田市の各情報が登録することで、相互関係に配信されるシステム。全体で1万484人登録、町では2月末で1076名が登録。本年度は136件を配信した。今後もホームページ、広報ながす、会議、チラシ等で登録をお願いしていく。

問

(樋口議員) 子育て世代包括支援センターに相談窓口を設置されるが、担当者体制は。

答

(子育て支援課長) 相談開始は29年4月からで、保健師や保育士を予定している。



※平成25年度より結核検診を肺がん検診として計上

問 (浦辺議員)

健康診査委託料の内容と受診率を上げるための方策は。

答

(福祉保健介護課長) 健康増進法に基づく主にがん検診(肺が

ん・胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん)と健康診査を行っている。受診率を上げるために、保健師を中心として受診勧奨を行っている。

平成28年度 特別会計当初予算

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	25億4,280万円	7.0%
介護保険特別会計	17億3,430万円	3.9%
後期高齢者医療特別会計	1億9,020万円	1.7%
公共下水道特別会計	15億4,700万円	△0.3%
浄化槽施設整備事業特別会計	1,550万円	3.3%
水道事業会計	収益的収支	2億5,363万円 4.0%
	資本的収支	8,963万円 △79.5%

特別会計とは、目的の決まった事業や資金運用に使う特定の税金や保険料を一般会計と区別して経理管理する会計のこと。

収益的収支: 水道料金を主な収入として、皆さまの家庭に安全で安定した水を給水するための経費。

資本的収支: 水道施設の建設や老朽化した水道管を取替えるための経費。

医療費

“厳しい町の国保財政!!”

国保の財政(長洲町)

保険給付費(医療費など)は支出全体の62.5%を占めており、医療の推移を見ると、一人あたりの費用額は年々増加している。

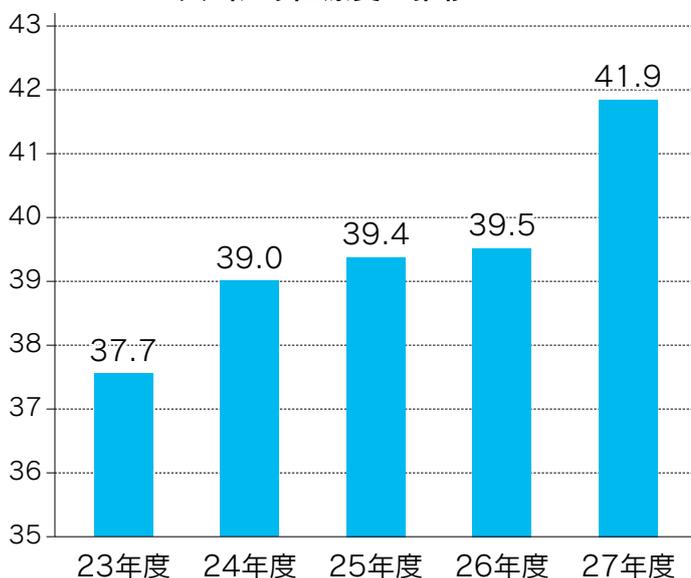
医療費増加の主な原因

医療費増加の原因は、人口の高齢化や医療技術の進歩の他に生活習慣病の増加や多受診・頻回受診・重複受診や安易な受診も大きな原因となっている。

国民健康保険

国民健康保険(国保)とは、病気や怪我をしたときに治療に専念できるよう、普段からお金(保険税)を出し合って支え合う相互医療扶助制度。

一人当たり医療費の推移(単位:万円)



△特別会計の主な質疑

国民健康保険

(福永議員)

問 医療費が増大している。町はデータヘルス事業やレセプト点検等の事業を推進しているが、もっと積極的な取り組みで医療費の削減を図るべきだ。

答 (福祉保健介護課長) 医師と連携し、高額医療費を抑えるデータヘルス事業や保健師による栄養指導で生活習慣病の指導をしている。特定健診受診率を高め、疾病の予防を図り、医療費の削減に向けて取り組みたい。

介護保険

(福本議員)

問 全ての高齢者に介護保険関連事業について、わかりやすく、親切に周知すべきでは。

答 (福祉保健介護課長) 各地区、介護予防拠点等でも、元気な高齢者の方に理解していただくよう、分かりやすく周知したい。

後期高齢者医療

(大森議員)

問 75歳以上被保険者の数と軽減措置の状況は。

答 (福祉保健介護課長) 平成27年度見込で、被保険者数2567名、軽減者数は、7割が1486名、5割が361名、2割が197名、合計2044名となっている。

公共下水道

(竹本議員)

問 浄化センター等は、老朽化が進んでいるが対策はできているのか。

答 (下水道課長) 突発的な事故等に備え修繕費の予算を組んでいる。

水道事業

(濱崎議員)

問 量水器取替等委託料に859万円計上されているが、取替量水器は、収益金として営業外収益の中に入っているのか。

答 (水道課長) 取替量水器の費用は、営業外収益に入っていない。

まちの活性化へGo!!

地方創生加速化交付金8000万円を追加

平成27年度 一般会計補正予算

《総額63億2641万円》

全員賛成可決

ぎょぎょっと感動! 恵みの海活性化事業

- あさり貝漁獲高等向上支援事業
- 漁業への企業参加支援事業
- 水産物製品開発に伴う調査研究事業

1966万円

「金魚のまち」を活かした 町魅力化向上事業

- 若者を活かした町魅力向上事業
- 「金魚のえき」めぐりの構築事業
- 「金魚と鯉の郷広場」を核とした観光振興事業

4434万円

ひとが輝くまちづくり 人材発掘・育成プロジェクト

- 空家対策事業
- 長洲駅南地区開発誘導計画策定事業
- 移住定住促進事業

1335万円

○ 保険給付費療養諸費 8000万円増額
○ 高額療養諸費 800万円増額
○ 共同事業交付金 3002万円増額
○ 歳出合計 6796万円増額
24億9847万円

国保会計 補正予算

○ 障害者自立支援介護給付費・訓練等給付費 2535万円増額
○ 情報セキュリティ強化対策事業委託料 1541万円増額
○ 個人番号カード交付事業負担金 275万円増額
○ 強い農業づくり交付金補助 6349万円減額
○ 保育所・認定こども園施設型給付金 3500万円減額

一般会計補正予算

腹赤浄水場更新事業に伴う資産除却費特別損失を計上していたが平成28年度まで稼働しており計上できなかったため、847万円を減額2億3544万円とする。

水道会計 補正予算

問 (竹本議員) 施設型給付の減額補正について、計画されたものができなかったのか。
答 (子育て支援課長) 歳出の金額が下がったため、補助基準額が減額となった。利用者負担金は、多子世帯や3歳児未満世帯が多く施設の負担金に減額が生じたため。

条例制定

行政不服審査条例の制定

〈制定理由〉

国の抜本的法改正により、条例を制定する必要が生じたため

〈質疑〉

（福永議員）

問 「法律または行政に関する見識を有する者」というのはどのレベルなのか。

〈答〉

（総務課長）
大学の講師の先生や弁護士等を考えている。

行政不服審査担当職員 の任用条例の制定

〈制定理由〉

町の行政不服審査を担当する職員の任用に関し、必要事項を定めるもの

いじめ防止条例の制定

〈制定理由〉

いじめ防止対策推進法を踏

まえ、必要な目的責務等を定めるもの

〈主な質疑〉

（大森議員）

問 いじめ問題調査委員会の設置は、第三者機関という認識でよいか。

〈答〉

（学校教育課長）
町長の附属機関として町の方で、大学の先生とか学識経験者、臨床心理士とか、また法律関係者とか、警察関係者を想定している。

（福永議員）

問 警察関係者とはどういう意味か。警察は捜査するところではないか。

〈答〉

（学校教育課長）
基本的には弁護士を対象としている。

（濱崎議員）

問 この条例に長洲町独自の部分はあるか。

〈答〉

（学校教育課長）
町の方で特にというのは、責務というところを全面に出してきたところで、町、学校、保護者、町民の責務をそれぞれ明らかにしたところが、特徴とされている。

高齢者施設げんきの館 条例の制定

〈制定理由〉

上沖洲に開設した高齢者施設の運用に関する事項を定めるもの

条例改正

税条例の一部を改正（専 決処分）

〈内容〉

法律の改正により、条例の文言を一部改正

固定資産評価審査条例 の改正

〈内容〉

行政不服審査法の全部改正により、条例の文言を一部改めるもの

町一般職員の職員給与条 例の改正

〈内容〉

人事院勧告に準じた職員給与の適正化を図る必要があり一部を改正

〈質疑〉

（磯野議員）

問 改正のところはかなりの数になるのか。それとも数力所か。

〈答〉

（総務課長）
減額については相当な数になる。

（磯野議員）

問 このチェックは、何度も見直しをしているのか。

〈答〉

（総務課長）
職員で二重、三重のチェックを行っている。

町職員の育児休業条例 の改正

〈内容〉

地方公務員法の一部改正に伴い、条例に引用している部分について改正するもの

地域密着型サービス事業 条例の改正

〈内容〉

地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営の基準を一部改正するもの

地域密着型介護予防 サービス事業条例の改正

〈内容〉

地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営の基準等に関し一部改正するもの

家庭的保育事業条例の 改正

〈内容〉

家庭的保育事業等の設備及び運営に関し条例の一部を改正するもの

人 事

○教育委員会委員の任命



隈部 壽明氏
（腹赤新町区）

審議結果 <全議案可決>

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退
*議長は表決に加わりません

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	福本みや子	大森秀久	竹本信次	荒木睦子	磯野博	浦辺朝暉	樋口エミ子	宮本哲太郎	市原一広	浜村芳光	徳永範昭	福永栄助	浜崎久	松井一也	
承認第1号	税条例の一部を改正の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第1号	行政不服審査条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	行政不服審査担当職員の任用条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	いじめ防止条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	高齢者施設げんきの館条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	固定資産評価審査委員条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	町一般職の職員給与条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	町職員の育児休業条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	地域密着型サービス事業条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	地域密着型介護予防サービス事業条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	家庭的保育事業条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	H27年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	H27年度国保特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	H27年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	H28年度一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第15号	H28年度会計国保特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第16号	H28年度介護保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	H28年度後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第18号	H28年度公共下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第19号	H28年度浄化槽施設整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	H28年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第21号	H27年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第1号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議提第1号	議会情報公開条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議提第2号	TPP大筋合意に伴う十分な情報公開と説明を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

一般会計予算

賛成

福本みや子 議員

公共下水道累積赤字解消後初の予算案で町民の期待も高く、町長も町民の想いを汲みあげての予算編成に対する苦労を察する。

公共下水道会計への繰出金が減少するも、医療特別会計への繰出金の伸びが顕著である。伸びをいかに抑えるかが課題となるなか、「げんきの館」を核とした介護予防事業に期待する。小中学校のエアコン設置はPM2.5などからの健康保全に効果的であり、学習環境が大幅に改善されると考える。定住促進事業を出町地区土地区画事業やよけの上地区の早期実現に向けた事業の遂行をお願いする。

課題は山積ながらもバランスのとれた予算編成であり、諸問題解決に向けて着実に町政を推進していくことを期待して賛成討論とする。

反対

大森 秀久 議員

厳しい財政状況の中で、小中学校の普通教室すべてにエアコンを設置する事業については評価できる。歳入について償却資産や法人住民税は積極的に現地調査を行うなどの方策を検討すべきである。

地方の経済は好転の兆しが見られないが、それは消費税の引き上げや物価高、実質賃金の目減りが要因である。

昨年引き上げられた国税や介護保険料は住民の暮らしを圧迫している。限られた財源を町民の要望に沿って事業化すべきで、長洲港改修事業負担金、長洲港湾施設改良事業負担金の負担割合が10%に軽減されると、約2200万円の財源になる。予算は町民の暮らしを分析、反映したものであるべきであることを申し上げ、反対討論とする。



TPP交渉の大筋合意に伴う十分な情報公開と説明を求める意見書 国へ提出！

〔内容〕

平成27年10月5日、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉が参加12カ国の閣僚会議で大筋合意に達し、平成28年2月4日にはTPP署名式においてTPP協定が署名された。

しかしながら、TPPについては本町の主要産業である第1次産業や製造業のみならず幅広い分野に多大な影響を及ぼすことが懸念される。

関税の撤廃や削減で輸入が拡大し、産業界の各分野においては、打撃を受ける可能性が指摘されており、先行きも不透明である。

政府からの情報発信は、マスコミ等を通じて出されているものの情報開示が十分なされていないとは言い難く、懸念と不安感が高まっている。また、交渉に入る前と交渉後の試算はあまりにも差が大きく、政府の説明はメリックトばかりが強調され国民の理解は十分には得られていない。

政府は、国民の理解を深めるよう丁寧な情報提供を行い、説明責任を果たしたうえで、地方の意見も聞きながら徹底検証し、慎重審議を行っていくことを強く求めるものである。

〔本会議〕
「採択」（全員賛成）

国（衆議院議長、参議院議長、総理大臣、官房長官、特命担当大臣（内閣府）、外務大臣、農林水産大臣、産業経済大臣）へ意見書を提出しました。



福永栄助議員

財政健全化について

答 中長期的に黒字を維持できる状態と考える

町政を問う

問 財政健全化と言われて随分久しいが、町長が考えている健全化とはどのような概念なのか。また、その状態を財政指標で表すことは可能か。

答 (町長) 長期的に見て収支の均衡を保持し得るような歳入歳出を構成し、その中で地方公共団体が果たすべき役割を十分効果的に果たすことが、財政の健全な運営と考えている。

問 それは財政運営の話だ。今のような財政運営をしながら、健全化することか。そうではなく財政健全化を達成するためには指標を定め、計画を立てて実施していくべきではないか。

答 (町長) 下水道会計の赤字を解消したものの、長洲町の財政状況を見て楽観視できるような状況ではないということには思っている。また、当町独特の難しさもあり、計画を立てにくい部分もあるが、議員指摘のとおり、一つ一つそういう目標値を立てて、議会にお示しし、今後財政運営をやっていききたい。

財政運営について

答 財政計画をつくっていく

問 実質単年度収支が24年度マイナス1億3200万円、25年度マイナス3億2000万円、26年度マイナス1億233万円と3年連続で赤字になった。このままのペースでいけばいずれ基金が枯渇し、資金がショートを起こしてしまうという警鐘ではないかと思うが、見解を伺う。

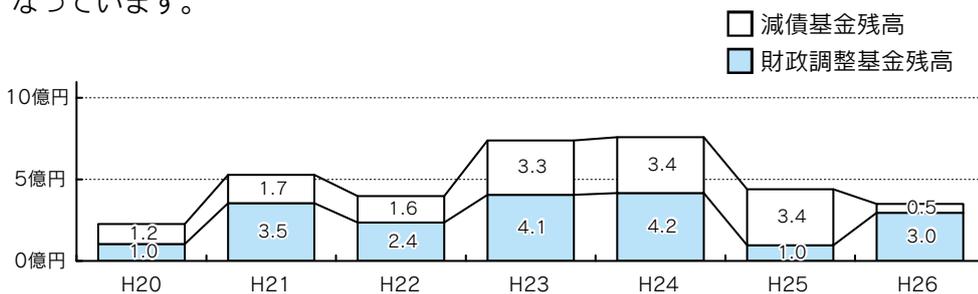
答 (町長) 指摘のとおりだ。原因としては交付税の減額、法人町民税の減少、歳入不足を補うため基金を取崩したことによるものだ。

問 町長が就任されてから21年、23年は黒、22年、24年、25年は赤、基金がたくさんあるときはいい。単年度収支が赤字と収支の均衡を保つためには、このマイナス部分を取り戻すために、翌年度の歳出を減らさなければならぬ。行財政改革をすべきと思うが。

答 (総務課長) 今後、総合振興計画の後期計画を作成する。これに伴い、財政計画も必要だと思っせてつくっていききたい。

財政調整基金及び減債基金残高の推移

「財政調整基金」は、平成元年度の約11億円をピークに平成17年度には約2千万円まで減少しています。平成26年度は、約2億1千万円の積立を行うとともに1千万円を取崩しましたので、基金残高は約2億9千万円となっています。同様に、「減債基金」も平成4年度の約9億円をピークに平成17年度には約8千万円まで減少しています。平成26年度は、基金利子分のみの積立を行うとともに2億9千万円を取崩しましたので、基金残高は約5千万円となっています。





濱崎 久議員

町職員の綱紀粛正と全体の奉仕者としての職務の遂行について

答 今後ミスがないよう職員を指導する

問 過日、職員が出張先で飲酒、検挙されたことが報告されたが、組織の緩みがあるように思われる。出初式で、国旗掲揚台の2本のポールに向かって右側に国旗を掲揚されたのはどういう理由か伺いたい。

答 (教育長) 2本のポールであれば向かって左側に国旗を掲揚するように指導している。

問 ならば、なぜあの時教育長は指導しなかったのか。

答 (教育長) 気づいた時、言うタイミングを逸していた。

問 最後まで掲揚のし直しがなかったということは…

答 (町長) 本来あるべき物ではない物が置かれていたのならば撤去してくださいとお願いし、撤去されたので処分は考えていない。

金魚村の不正使用について

答 撤去をお願いし、処分は考えてない

問 養魚組合長を行政処分すべきではないか。

答 (町長) 町職員が検挙された時は、顛末書をとり説明があった。不正使用した養魚組合長には顛末書どころか、町は調査しようとしていないのどうしても納得できない。町長は真摯な答弁を心がけ情報公開に徹すると言明された。このことをどう答えるか。

問 町職員が検挙された時は、顛末書をとって説明があった。不正使用した養魚組合長には顛末書どころか、町は調査しようとしていないのどうしても納得できない。町長は真摯な答弁を心がけ情報公開に徹すると言明された。このことをどう答えるか。

答 (農林水産課長) 不適切な部分は改善してもらおう。

問 行政財産使用虚偽申請がされたとき、町はどのように受けるか。

答 (農林水産課長) 許可事項の変更は再申請になるのでは。

問 町としては、養魚組合長に撤去してくださいとお願いしたんでは、いわゆる不法占有状態があった訳では。

答 (農林水産課長) 結果として第三者が資材をそこに置いたという事実があった。

答 (町長) 我々もなかなか判断がつかなかった。

答 (農林水産課長) 第三者に許可したのは誰か、町は把握していない。



福本みや子議員

英語教育に長洲の独自性を

答 幼稚園・保育所に外国人教師を派遣する

町政を問う

問 教育の面から人口増を図るユニークな考えはあるのか。

答 (子育て支援課長) 町内公立・私立保育所3カ所、私立幼稚園2カ所にそれぞれ週1回、外国人先生を派遣し、

英語教育を始める。遊びや音楽を通して親しみを持たせるのが目的。

問 生の英語を体験した子ども達を小学校正規の英語授業につなぐ体制づくりは考えているのか。

答 (教育長) 現在、教師は研修を受けている。担任としての授業力をしっかりと身につけてほしい。小学校全年年で発音を学べるようALTも週2回は配置している。

問 日本語英語にならないような工夫は。

答 (教育長) ALTがDVDを作ったり、担任教師の授業力向上研修の両面から英語授業を作っていく。



フランク先生、英語であそぼう!

まちの情報発信は斬新な発想で

答 職員間の協議と啓発を重ねたい

問 長洲の良さを伝える情報発信手段は。

答 (町長) 「広報ながす」、町のホームページ、メール配信システム「愛情ねっと」、新聞社やテレビ局などへの情報提供で県内外に周知。

問 旬な情報や若い感性の切り口などを工夫しているのか。

答 (町長) 職員がおもてなしの気持ちで対応し、ワンストップで手続きが済むよう心掛けています。



アイデアを活かして情報発信を

問 各課の窓口の対応で印象が変わる。どう工夫しているか。

答 (町長) 職員がおもてなしの気持ちで対応し、ワンストップで手続きが済むよう心掛けています。

問 税通知書にお礼の言葉を添えてはどうか。

答 (町長) 今後、接遇のあり方、魅力ある町をつくるため、提案をもとに検討していく。

TPP合意で、農林水産物の生産減少額は1兆6000億円に、政府試算の7倍～12倍

品目	2015年政府試算	鈴木宣弘研究室試算	
	生産減少額 (億円)	生産減少額 (億円)	減少率 (%)
米	0	1,197	6.7
牛乳・乳製品	198～291	972	14.2
豚肉	169～332	2,827	48.8
牛肉	311～625	1,738	31.1
鶏卵	26～53	1,100*	23.0
鶏肉	19～36	990*	32.9
みかん	21～42	911*	58.9
りんご	3～6	371	27.0
ぶどう	0	289	26.9
トマト	1	183	7.9
いちご	0	109	6.8
ねぎ	0	148	10.4
農産物計	875～1,516	12,614	
林水産物計	393～566	2,980*	
農林水産物計	1,300～2,100	15,594	

2013年の生産額を基準にした生産減少額と減少率表で使った*は「合意」の関税撤廃品目であるため、関税撤廃を前提とした政府試算の数字を使用
※赤旗新聞4月3日記事より抜粋

重要5品目の主な合意内容と関税撤廃品目

	TPP[大筋合意]の主な合意内容
米	米国、豪産米に7万8400トンの輸入枠新設、ミニマムアクセス米6万トンを米国に上積み
小麦	米国、カナダ、豪産小麦に23.5万トンの輸入枠新設 マークアップを45%削減
牛肉	15年後までに関税を76%削減 (38.5%⇒9%)
豚肉	高級肉は10年で関税撤廃 加工肉(差額関税)は90%削減
乳製品	バター、脱脂粉乳に低関税輸入枠を新設 ホエー(乳清)の関税撤廃 チーズの一部関税を撤廃
砂糖	加糖調製品の輸入枠新設 でんぷんに特別輸入枠新設

◆数字の意味合い ①米は2015年の減反上積みが8万ト、②小麦23.5万トは都道府県の小麦生産量(278万ト)に匹敵、③牛・豚肉の削減後の関税は、内外価格差にてらせば、事実上関税ゼロに等しい
※農民運動全国連合会機関紙「号外」より抜粋

答 (町長) 生産者と消費者、この信頼関係を築いていかなくは何にもならないと思う。無農薬の農産物、遺伝子を組み替えていない農産物をつくっていく、こう

問 把握できていない。攻めの農業について、東京大学の鈴木宣弘教授は、強い農業とは、「コストダウンする努力は重要だが、日本の土地条件ではオーストラリアや米国に負けてしまう。少々高いが徹底的に物が違う、本物を提供する生産者と、それを理解する消費者とのきずな、ネットワークこそが強い農業ではないか。」と述べている。町長はどう思うか。

答 (町長) ミニトマトの海外輸出は、検疫の問題で現時点では駄目だが、今後そういうものがある。撤廃されれば、東南アジアを初め、世界にも広めていくことができる。技術革新、各国との交渉を地道にやりながら、付加価値の高い農産物をつくり上げていくことかなと思っている。



大森秀久議員

攻めの農林水産業への転換 町はどう取り組んでいく予定か

答 関係機関と連携しTPP対策に伴う補助事業の活用を検討

問 攻めの農林水産業への転換、体質強化で国の補正予算が成立した。町はどのような事業として取り組んでいく予定か。

答 (町長) 今回の補正予算で主に畜産、野菜、果樹などの農家が共同で農機具や新型設備を購入する場合には、2分の1補助する基金の創設などとなっており、関係機関と連携しながらTPP関連事業に伴う各

問 TPPの発効で、農林水産物への影響を県独自で試算している。町はどのように受け止めているか。

答 (町長) 県が発表した、年間81億7000万円、132億円減少するとされた影響試算は県独自で想定したもので、各市町村の取りまとめではなく、町の試算分

問 攻めの農業について、東京大学の鈴木宣弘教授は、強い農業とは、「コストダウンする努力は重要だが、日本の土地条件ではオーストラリアや米国に負けてしまう。少々高

問 ミニトマトについて、黒毛和牛のブランド化の路線で進むのか。



竹本信次議員

自主・自立したまちづくりの推進を!!

答 税収等の自主財源による自立した財政運営を目指したい

させる自主財源であり、滞納者の増加は健全な財政運営に支障をきたす。職員の滞納対策研修を強化し、税収等の自主財源による自立した財政運営を目指したい。

高度医療の増加などから医療費が増加し、医療費特別会計への繰入金や扶助費(児童・高齢者・障がい者等、社会保障施策の経費)等の伸びが顕著になっている。

ふるさとの味と香りのある 特産品の開発を!!

答 新しい特産品の開発で、地域雇用を創造したい

積赤字解消の操出金は減少したが、高齢化や公共(下水道)への累

雇用拡大に向けたセミナーの企画実施、新商品開発で産地の活性化を図る等、実践型地域雇用創造事業を推進されているが、現状と課題は何か。

地域振興フェア等に出品・出店し、情報発信を行った。次年度は新しいセミナー開催による雇用創出、地域資源を生かした農水産関連商品の6次産業化の開発をいかに展開していくかが課題である。



新しい地元特産品の開発を

税額が大幅にアップしている。特産品(返礼品)の開発をもっと推進すべきでは。

(昨年350万)の納税を頂いた。また、地元で生産、販売されている協力事業者の方に町の魅力、特産品として、ふるさと納税サイトでPRできるものはないか調査し、特産品の開発を図っている。

雇用拡大メニュー及び人材育成メニューの事業推進で、29名が雇用された。また、ミニトマトピューレ等の商品開発を行い、県内

平成27年度にふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」に登録し、200数名の方が申し込まれて820万

全国的に、ふるさと納税新制度の効果やふるさとの味と香りのある『お礼の品』の充実度が上がり、納



安定した税収入の確保を

自主・自立したまちづくりを推進するには、安定した税財源の確保が重要で、滞納者が増加することは、財政運営を不安定にするだけでなく、納税者の不公平感から、町政への信頼が弱まる。町税等の収納率向上対策強化が必要では。

答 (町長) 町税は、町を発展

答 (総務課長) 公共(下水道)への累

答 (まちづくり課長) 平成27年度にふるさと納税サイトでふるさとチョイスに登録し、200数名の方が申し込まれて820万

答 (町長) 雇用拡大メニュー及び人材育成メニューの事業推進で、29名が雇用された。また、ミニトマトピューレ等の商品開発を行い、県内

全国的に、ふるさと納税新制度の効果やふるさとの味と香りのある『お礼の品』の充実度が上がり、納

平成27年度にふるさと納税サイトでふるさとチョイスに登録し、200数名の方が申し込まれて820万

ふるさと納税サイトでPRできるものはないか調査し、特産品の開発を図っている。



今後の活用に期待(きんぎょ村)



磯野 博議員

本来あるべきでない物はどいつなったか 答 撤去されて改善した

問 きんぎょ村に本来あるべきでない物が置かれていた件の、これまでの経過は。

答 (町長) 平成23年8月に、資材の所在は確認していたが、その内容が何かまでは確認していな

かった。平成24年10月に指摘を受け、長洲町養魚組合に本来あるべきでない物が置かれていたのであれば撤去を口頭でお願いした。その後、平成25年3月に撤去され、町としてもその当時に改善の申し

入れを行い、対応され被害等も発生しなかった。その時点で改善がされたという認識で処分は行っていない。今後、調査等も行う考えはない。

問 再度確認になるがいつからいつまで置かれていたのか。

答 (農林水産課長) 平成23年8月に所在を把握し、平成25年3月に撤去された事により、本来あるべきではない物と確認をした。

問 撤去のお願い、指導等はいつごろの誰にしたのか。

答 (農林水産課長) 平成24年12月に長洲町養魚組合長に伝え

問 その時の組合長は。

答 (農林水産課長) 現組合長に伝え

問 前組合長のときに置かれて、現組合長のときに撤去されたということでは間違いな

答 (農林水産課長) 間違いはない。

問 町と長洲町養魚組合は、信用、信頼のもとに契約をされていると思うがどうか。

答 (農林水産課長) 長洲町養魚組合に対して有料で行政財産使用許可を行っている。年間の使用料はいくらか。

行政処分の考えは

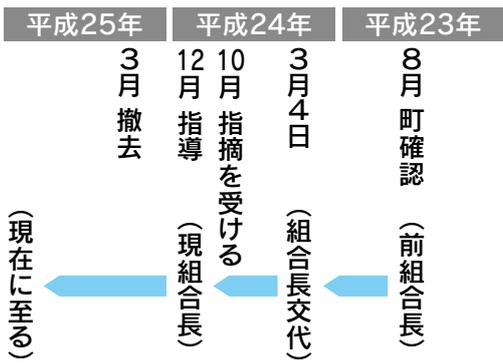
答 処分を行う考えはない

問 この件に対しての行政処分の考えは。

答 (農林水産課長) 金魚生産活動における物的や経済的損失など、被害や苦情等の実害は発生していない。また、施設への被害もない。当時も処分は行っていないし、今後処分を行う考えはない。

問 今後、このきんぎょ村の方向性は。

答 (町長) 長洲町といえど金魚だ。地方創生に向けて、改めて金魚を売り出していかなければ





浦辺朝章議員

健康は守るから創るへ 町の取り組みは

答 健康マイレージ制度の実施も考えている

問 高齢化の進行により、医療や介護の負担が増加しているなか健康増進計画は重要と思うが、町の取り組みは。

答 (町長) 健康寿命の延伸、健康格差の縮小を目標にした健康増進計画や食育推進計画を策定、生活習慣病予防を進め

ている。健康づくりの取り組みとしては、特定健診・がん検診、介護予防拠点を利用した健康相談、保健指導等を実施。健康づくりにつなげる活動としてポイントを利用した健康マイレージ制度の実施も検討している。

問 静岡県袋井市や藤枝市では、健康・

予防、健康づくりに力を入れ特定健診の受診率も高い。またメタボが少なく、後期高齢者の医療費も安い。これらの事例をどう思うか。

答 (福祉保健介護課長) 高い数値であると認識している。健康マイレージ制度については、住民に有効にポイントを活用してもらえ

子ども達の日常と指導は

答 早寝早起き朝ごはんの指導と

体力向上

問 子ども達の食事・挨拶・運動など学校での現状はどうか。また課題・指導方法はどうか。

力低下である。学校での「体づくり運動」の充実を図り、体力向上を目指していく。

答 (教育長)

問 子ども達の短所長所を見抜いて伸ばしてやるのが、指導者の力だと思うがどのようにされているか。

答 (教育長) 認め、褒め、励まし、伸ばすという指標があり、それに沿って指導をしているところだ。



健康はみんなで作るもの

るような手法を考えていきたい。

問 町の特定健診受診率は何%か。また後期高齢者の医療費は一人当たりいくらか。

答 (福祉保健介護課長) 平成26年度で38.9%、後期高齢者医療費は一人当たり101万8937円。

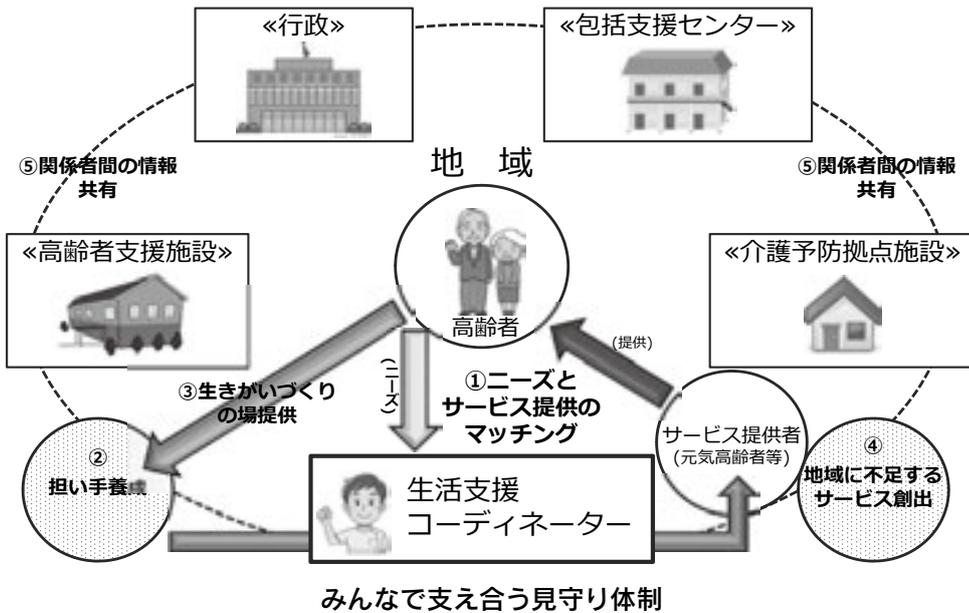
答 朝食の摂取率は小学6年96%、中学3年93%で全国平均と同じ程度。挨拶ができているのは87.8%。運動は「全国体力・運動能力、運動習慣調査」によると、筋力や跳躍力、柔軟性は全国や県平均を上回り、疾走能力や全身持久力、投球能力は劣る。課題としては運動する子どもとしない子どもの二極化と体



先生と朝のあいさつ



樋口エミ子議員



高齢者の緊急時や災害時の支援づくりは 「命のバトン」事業をつなげていく

問 高齢者の見守り体制の構築とは。

答 (町長) 社協とも連携しながら各行政区の高齢者台帳の整備を進め、地域における見守り体制を図っていく。

問 地域で安心して暮らすしていくためには緊急時や災害時に支援が必要な方の把握が必要であり、平成27年

度には地区で名簿を作成した。防災対策の整備をどう活かしながらしていくのか。

答 (福祉保健介護課長) 地区の台帳をシステム化して、今期中には、消防本部の方にデータを配布する。また、民生委員さん、一区一職員、区長さんとの定期的な会議で情報を更新していく。

『げんきの館』のケアシステムは

答 介護予防活動の充実に努める

問 4月から開所される『げんきの館』のケアシステム総合事業について問う。

業や生活支援の担い手となるボランティアの養成を行う。

答 (町長) 支援が必要な高齢者へのデイサービス事

問 高齢社会において健康寿命を保つていくのには上質の食生活が欠かせない。現在

高齢者の低栄養、栄養不足が言われている。低栄養になると脳や筋力の量、免疫力、体力、気力、認知能力などが低下し、その結果、介護が必要になる。食生活改善推進員さんに協力をお願いして、昼食づくりのようなメニューも必要と思うが。

答 (福祉保健介護課長) 身体機能を維持していくには栄養は大事である。と認識している。食改さん等の協力も得ながら、リハビリテーションのメニュー等検討していきたい。

問 デイサービスのプログラムには、介護予防体操や認知症予防などの活動が盛り込まれている。健康な体を維持していくために

この中に調理・料理をすることを組み入れてほしい。

答 (福祉保健介護課長) 提言を受けており、確かに調理室もある。デイサービスについては身体機能の向上を考え、要支援の方たちをできるだけ地域に戻していきたい。今後保健師が地域へ出向く活動の中に、栄養士の配置を考えていく。



健康なからだづくりを



市原一広議員

犯罪のない安心な町へー防犯カメラの設置をー

答 安全・安心な町づくり推進へ向け設置を検討

問 児童・生徒の安全確保や犯罪のない安全な町づくりにおいて、いま全国で、また近隣自治体でも防犯力

答 メラ(見守りカメラ)の設置が進んでいるが。(町長)
町は、公共施設や小中学校など合計31台

設置している。防犯カメラを設置することは、犯罪の抑止に大きな効果があるといわれている。今後の導入については、安全・安心な町づくり推進に向け、設置を検討していく。

答 う。名石浜の遊歩道、金魚と鯉の郷広場、町道の交差点などに設置していく考えは。(総務課長)
近隣の市町では、民間の協会(一般社団法人)が自動販売機を利用して設置を進めている。町でも、利用できないか考えていく。

成人者を帰省の時期に合わせることはできないか
答 成人者の意見を聞きながら決定していきたい
もの数が減るなか、参加しやすい日程に変更すべきではないか。(町長)
来年以降については、協議していきたい。



犯罪の未然防止に向けた取り組みを

防災体制の強化充実を

答 予測できない災害への備えを今後にも充実させていく

問 災害のときに機能する自主防災組織にしていくことが大切であり、リーダーの育成も必要だと思うが。(副町長)
災害時リーダーと

なる防災士の育成を進めている。現在は町内5名だが、自主防災組織の核となる防災士を各区に1人ずつ誕生させようと考えている。



全員が参加しやすいのが一番

今後の町のために

総務保健福祉常任委員会

平成28年2月8日(月)～10日(水)

1日目 袋井市の湊地区にある命山整備計画と津波避難タワーを見学。津波による被害から住民を守るため1億6400万かけて1300人が避難できる人工の丘を造っている。

2日目 「めざそう健康・日本一藤枝プロジェクト」と健康マイレージ制度について。歩いて健康「日本全国バーチャルの旅」、健康スポーツを結んだウォーキングイベント。日々の運動・食事・体重測定等にポイント、サービス等が受けられる仕組み。

健康予防促進の特徴

特定健康調査の受診率が高い。メタボが少ない。がんで亡くなる人の割合が低い。地域の保健委員制度があり、健康づくり活

3日目 袋井市の健康マイレージを学ぶ。「健康チャレンジ！すまいる運動」すまいるカードとe-すまいる(メール)等がある。ポイントには公共施設利用や学校への寄付等にも利用できる仕組み。健康マイレージ制度をぜひ本町でも取り入れて欲しいと思えた。



住民を守る命山

建設経済文教常任委員会

平成28年1月27日(水)～29日(金)

東京都足立区へ

基礎学力の定着と学力向上対策が独自の取り組みで効果が上がっている。民間事業者へ委託したり学校教員授業力アップ対策など積極的な取り組みが行われていた。子どもたちへの教育的配慮と施策への発想の着眼点など、本町に活かせる施策を提案したい。

横浜市中央卸売市場へ

長洲産ミニトマトは



長洲のミニトマトがここに

品質、入荷量とも評価が高い。今後は生産者、JA玉名とも共通理解のもと、安定供給のできる体制づくりを推進し、より良いブランド化を応援したい。

東京都文京区 金魚卸売店訪問へ

金魚販売とレストラン併設の都会のオアシス的な店舗だった。長洲産金魚やグッズで長洲の情報発信をお願いしたい。

議会運営委員会

平成28年2月15日(月)～16日(火)

平成25年議会基本条例施行

岡山県早島町

(主な概要)

- 情報公開の充実：議会報告会の開催・議会中継(録画)
- 町長への反問権の付与(質問の論点、争点を明確にするために限定)
- 議会だよりモニター制度の導入
- 総合振興計画の基本構想・基本計画を議決事件に追加。

議会をインターネット中継

広島県熊野町

(主な概要)

- 配信に係る年間経費120～130万円
- ライブ中継が配信され、検索ボタン選択により過去に遡っての視聴も可能。



活発な意見交換(熊野町)

町民のひろば

傍聴席から一言

今こそ若い力が必要



松岡友佳子 さん (建浜区)

初めて議会を傍聴して、する前と後では自分自身の意識が変わったように感じます。

議論を聞き、「議員の方たちばかりに任せきりではいけない、もっと私たちのような若い人の力が必要だ」と思いました。

そして、このままでは長洲町を良くすることは難しいのではとも感じました。

よりよくするためには、傍聴に積極的に参加し、まずは議会を知ることが必要です。

今年から、選挙権もあるということで、ますます関心を持たなくてはと思いました。

若い世代で、地元である長洲町を盛り上げていきたい、そんな思いをより強くするいい機会になりました。

町民の声

水中運動「うきうき教室」



吉田 随子 さん (折地区)

毎週木曜午後1時半からB&G温水プールでの水中運動「うきうき教室」も10年目になりました。続けている人は膝、腰、肩の痛みが軽減したり、風邪をひかなくなった、体重が減った等の効果が出ています。整形医院からも水中運動を勧められたり、病気(糖尿病)が軽減し仕事復帰した方もいます。プール工事で2カ月入れなかった時、膝の痛みが戻り、プールの有り難みを実感しました。外を歩くより膝に負担なく出来るので、お困りの方、一緒に楽しくプールで歩きましょう。

ひびき

4月14日(木)に続き、16日(土)深夜に熊本を震源とするM7.3という巨大地震が発生し、甚大な被害が発生しました。

家屋の倒壊などで亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

わが町は比較的自然災害が少なく、安心安全な町と捉えられています。が、この震災を機に地震、風水害、津波の避難対応マニュアルなど、地域住民の意識向上と共に計画づくりが必要です。

熊本県民は我慢強い性格だと言われていますが、震災からひと月過ぎた今も避難所や車中での生活が続いています。一刻も早く復興が進み平穏な生活ができることを願うものです。

「がんばろう熊本」
(樋口)

皆さん傍聴に出てこんね!

次の定例会は
6月20日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

広報委員	委員長 徳永 範昭
副委員長	竹本 信次
委員	福本みや子
委員	大森 秀久
委員	荒木 睦子
委員	浦辺 朝草
委員	樋口エミ子
発行責任者	議長 松井 一也